

平成26年度 第5回市長タウンミーティング概要

と き：平成26年4月19日(土)
午後2時～午後3時30分
ところ：中央公民館
参加者：130人

○市長あいさつ

(市長より、平成26年度の施策・予算についての説明が行われました。)

○意見交換

質問(男性)

まちづくりの基本目標の一つにある「快適で過ごしやすく環境にやさしいまち」で、蕨駅西口市街地再開発事業を掲げていますが、第2・3工区について進展が期待できるということでしょうか。また、今年は今年の蕨駅開業120周年に続き、新幹線開業50周年を迎えますので、日本車輛製造の工場があった蕨市を新幹線電車発祥の地として、まちのにぎわいづくりに活用するなど検討していただけないでしょうか。

回答(市長)

蕨駅西口市街地再開発第2・3工区については、市負担の軽減に向けて計画の見直しを進めていますが、市の玄関口であることから、その整備については、これからのまちづくりにとって重要な事業と考えています。「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンの重点プロジェクトにおいても、市の玄関口にふさわしい蕨駅前の再開発事業を進めていくと示し、重要な事業と位置付けています。

次に、まちのにぎわいづくりについてのご提案ですが、皆さんからのアイデアをまちづくりに活かすことは重要ですので、担当課へお話を届けていただければと思います。

質問(女性)

市では、LED照明灯や防犯カメラ設置など商店街への支援を行っているようですが、店自体を活性化し、商店街が元気でにぎわうような施策も検討していただけないでしょうか。

回答（市長）

市では、まちのにぎわいづくりに向け、中心市街地活性化基本計画の策定を進めており、国の認定に向けて協議を進めていますが、この計画では、空き店舗を減らす目標を掲げています。市は、空き店舗有効活用事業として、蕨市にぎわいまちづくり連合会と連携し、空き店舗への出店にかかる改装費や広告宣伝費などを補助しており、これまでに5店舗が出店されました。また、くらしのポイント事業の活用や、街バルの開催など、地元商店に目を向けてもらうきっかけづくりとなる取り組みを進めています。

質問（男性）

市の観光行政についての提案です。JR東日本が所有する蕨駅構内の「びゅうプラザ」が閉店しましたが、その場所を観光協会などが活用することで、市のPRができないか検討していただけないでしょうか。

回答（市長）

他市にある観光案内所は、JRの敷地をお借りせず駅前等に設けられたものが多いようですが、駅構内でJRと市との協働により観光案内所を設置している事例はあるようです。お話のとおり、「びゅうプラザ」は3月末に閉店しました。その後の店舗活用については、所有者であるJRの意向にもよることから、今後どのように使われていくか情報収集に努めていきたいと思えます。

質問（男性）

ひと言、お礼を申し上げます。旧耐震基準で建てられたマンションなど共同住宅の耐震診断補助を創設してくださり、ありがとうございました。補助金額の上限が利用しやすい設定となっており、大変助かっています。

回答（市長）

自助・共助・公助の連携による防災都市づくりを進めていく中で、皆さんが多く時間を過ごすご自宅の耐震化が必要であることから、木造住宅の耐震診断に対する補助率を引き上げるとともに、新たに共同住宅の耐震診断に対する補助制度を設けましたので、住宅耐震化につなげてほしいと思えます。また、自助の取り組みとして、市民の皆さんには、ご自宅にある家具の転倒防止や窓ガラスの飛散防止についても、重要なことなので取り組んでいただきたいと思います。

質問（男性）

3点お聞きしますが、1点目は、土地開発公社の健全化計画について、9年で46億円の借金を減らすのは大変だと思いますが、今後の借金返済に向けた考え方などを教えていただけないでしょうか。

2点目は、学校土曜塾についてですが、毎週ではなく隔週での実施の理由について教えていただけないでしょうか。

3点目は、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンに、今後の10年間における学校や公共施設の統廃合や配置転換などの方向性について示されているのでしょうか。

回答（市長）

1点目の土地開発公社の借金については、その借金の多さは前市政の最大の負の遺産であり、蕨市の将来の市政運営に重大な支障を来しかねない問題であることから、その健全化を進めてきたところです。その結果、この6年間で、土地開発公社の借金は77億円から59億円にまで減少しました。しかしながら、昨年、埼玉県の記事によると、標準財政規模に対する土地開発公社の債務残高の比率が、県内ワースト2位という状況となっています。そこで、新たな土地開発公社の健全化計画を策定しました。計画では、9年間で、市の標準財政規模である130億円の10%である13億円まで借金を減らすことを目標とし、起債の活用を組み合わせるなどして借金を返済していく予定です。また、借金返済も大切ですが、市政運営や市民サービスに影響がないよう財源を確保しながら、同時に公共施設の耐震化など必要な取り組みも実施していきます。

2点目の学校土曜塾の実施回数については、初めての事業でもあるため、運営スタッフの確保や参加する子どもたちの負担なども考慮し、隔週の実施から始めました。各学期終了後に反省会を行っていますので、実施回数なども含め、より良い内容に向けて検討していきたいと思っております。

3点目の学校や公共施設の方向性については、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンにおいて、今後、公共施設の利用頻度や維持管理にかかる費用などの現状分析を行い、ファシリティマネジメントという手法により公共施設を適正管理していくと示しています。

質問（男性）

駅周辺について3点ほど要望があります。1点目は、ベビーカーを利用していますが、蕨駅のエレベーターはいつも混雑し、とても使いづらいので、ぜひ下りエスカレーターを設置を検討していただけないでしょうか。2点目は、放置自転車についてです。放置自転車が多いのは、一時利用の駐輪場への案内等が分かりづらいことなどが原因だと思いますので、対応を検討していただけない

いでしょうか。3点目は、路上喫煙者についてです。これも路上喫煙の禁止区域の案内等が分かりづらいことなどが原因だと思いますので、対応を検討していただけないでしょうか。

回答（市長）

1点目の下りエスカレーターの設定についてですが、改札内についてはJRの管轄となっております。当初、ホームのエレベーター設置工事にあわせて設置する計画でしたが、費用などの諸事情により取りやめとなっておりますので、JRには今後も設置のお願いをしていきたいと思っております。また、駅東西口の階段部分については、構造上の理由などから下りエスカレーターが設置できないと伺っておりますのでご理解いただきたいと思います。なお、ベビーカーをお使いの場合は、エスカレーターは危険なので、ぜひ、エレベーターをご利用いただきたいと思います。

2点目の放置自転車については、東西口合わせて1,790台あった平成17年のピーク時に比べて劇的に減り、平成25年には85台となりましたが、今後も引き続きキャンペーン等を通じて周知・啓発に努めていきます。また、一時利用の駐輪場の案内については、市のホームページに掲載していますが、より分かりやすい内容に向けて検討していききたいと思います。

3点目の路上喫煙については、路上喫煙の防止等に関する条例を平成19年3月に制定し、周知・啓発に努めていますが、より効果的に行えるよう、引き続き周知のあり方など改善に向けて検討をしていききたいと思います。

質問（女性）

商店街活性化のため「コミュニティバスぷらっとわらび」のルートを、蕨駅前の商店街通りを走るよう変更できないか検討していただけないでしょうか。

回答（市長）

そういった声があることは承知していますが、「コミュニティバスぷらっとわらび」のルート変更については、国への申請や委託先である国際興業バスとの関係、利用者の意向など様々な理由により大変難しい問題であると考えています。しかしながら、錦町区画整理事業の進捗に伴い、今後、ルート変更については検討していく必要があると課題認識しておりますのでご理解いただきたいと思います。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。